

平成29年度  
福島町議会定例会  
6月会議議案

- 報告第1号 福島町議会一般質問等答弁事項進捗状況調査の報告について

福島町



答弁指定事項進捗状況調書一覧

整理No.	質問要旨	議員名
13	①オールイングリッシュの授業について ②コミュニティスクールについて	熊野 茂夫
18	松前半島道路整備促進に向けた取り組み及び 松前町との路網整備について	平沼 昌平
19	永田文庫を含む町文化財の保管・公開方法について	平沼 昌平
20	戦没者追悼式の在り方について	平沼 昌平
21	高齢者福祉関連事業を一つにまとめ展開を 理解しやすくする検討を	平沼 昌平



答弁指定事項進捗状況調書

本会議名等		議員名	熊野茂夫	確認年月日	H28.3.23
開催日	H28.3.11	議案名等		一般質問 ②当町における幼児教育及び小中学校の現状と今後について	
会議名	定例会3月第2回会議				
質問要旨		<p>①オールイングリッシュの授業について 昨年11月、福島中学校の授業参観日に英語の授業を見ました。中学校3年生になったら、日本語が一言も飛び交わないような、授業時間があるべきと思うが考えを伺いたい。</p> <p>②コミュニティスクールについて 町ぐるみ、いわゆる、学校、家庭で、地域が一体となって、地域とともにある学校の姿が、好循環を生んで行くと思う。コミュニティスクールは、可能な施策の中に入ってくると思うが教育長の考えは。</p>			
答弁要旨 (答弁者：盛川教育長)		<p>①オールイングリッシュの授業について 町の英語の授業の会話の部分については、そういう取り組みがあつていいのかなと思いますので、現場の方と協議したい。</p> <p>②コミュニティスクールについて 「4月から具体的な検討に入ってください。」と校長会でも話している。学校の先生の中に担当を決めて、年度当初から検討を開始しようとしている。</p>			
対応・進捗状況		対応済み (平成 年 月 日)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">対応中</div>		実施不可
取り組み状況		<p>■平成29年6月1日 現在</p> <p>①平成28年9月会議で前教育長が報告した内容により終了とします。</p> <p>②コミュニティ・スクールについて 平成29年12月に小学2校、中学1校の同時指定に向けて (ア)4月27日 学校運営協議会準備委員会の開催 参集範囲：町議会議員・町内会長・保護者・教職員・学校評議員 教育委員・事務局職員 (イ)6月28日 CS指定に向けた準備会委員を対象とした研修会の開催（予定） (ウ)先進地視察研修（7月 七飯町、知内町（予定）） 会議及び研修会の開催を通して指定に向けた事務を推進する。</p>			
調査を終了する本会議		平成29年度定例会3月会議			
その他参考事項		追跡内容は、上記の2項目としました。			

答弁指定事項進捗状況調査書

本会議名等		議員名	平沼 昌平	確認年月日	H28. 6. 22
開催日	H28. 6. 21	議案名等		一般質問 (松前半島道路の整備促進に向けた取り組み及び松前町との路網整備について)	
会議名	定例会6月会議				
質問要旨		【松前半島道路の整備促進に向けた取り組み及び松前町との路網整備について】 松前半島道路が必要だという住んでいる方々の思いを内外に示すのは、やはり各町の首長だと思う。アピールするために看板など何らかの手法や広報に掲載するなどの活動が必要と感じているが如何か。 緊急時に対応した松前町と福島町の間の新たな路網整備について、今はルートが2本ある。松浦～白神間は松前町と協議して道道への昇格を要望しているが、今現在、緊急時に対応できる道路となっているのか。			
答弁要旨 (答弁者：鳴海町長)		高規格道路が必要だということは2市4町の首長はみんな同じ思いだと思う。今後は、期成会の中でも積極的に発言し、また、機会あるごとに2市4町の首長で意見交換しながら実現に向けて事務を進めていきたい。 228号線については我々も危惧しているところです。松前と福島の間が国道1本という状況で、台風シーズンになると町民にご迷惑をかけている。就任以来、機会あるごとに関係機関の方には訴えている。松前半島道路については、地方という形の中で高規格を整備するということで江差の路線とはちょっと違う。現道を利用しながらでもできるし、色んな手法があるということも聞いていますので、松前半島道路は半島道路としてきちんと要望はしていきますけれども、まずは第一に今のある現道が通行止めにならない方法があると思っていますし、また、開発の所長さん方もしっかり知恵を出しながら、やれる手法があるという意見もいただいていますので、今ある道路をなるべく通行止めにならないことを優先にしながら、且つ松前半島道路も第二次路線確保という意味からも必要ですので、皆さんの意見を受けながら町民の代表としてやっていきたい。その中でも、柔軟な対応の中で一日も早い実現に向けてこれから作業を進めるなり、要望活動をしていきたいと思っています。			
対応・進捗状況		対応済み (平成 年 月 日)	<input type="checkbox"/>	対応中	実施不可
取り組み状況		<p>■平成29年6月1日 現在</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H29. 3. 27 松前半島道路勉強会（期成会事務局、構成市町担当者外）</li> <li>・H29. 5. 10 道南道路4期成会課長会議</li> <li>・H29. 5. 22 平成29年度松前半島道路建設促進期成会総会（町長出席）</li> <li>・渡島総合開発期成会 札幌要望（6. 27予定）・東京要望（7. 27予定）</li> </ul>			
調査を終了する本会議		平成30年度定例会6月会議			
その他参考事項		追跡内容は上記の1項目としました。			

答弁指定事項進捗状況調書

本会議名等		議員名	平沼 昌平	確認年月日	H29.3.17
開催日	H29.3.14	議案名等		平成29年度一般会計予算 (永田文庫を含む町文化財の保管・公開方法について)	
会議名	予算審査特別委員会				
質問要旨		<p>学芸員の方が来られて永田文庫や縄文土器等を、見て頂く、説明して頂く、利用して頂くという段階できちんと学術的なもの、文化財的なものの立ち位置、福島町としての方向性（スタンス）を決めておいたほうが良いと思います。</p> <p>特に永田文庫に関しては、福島町史の根幹をなす資料も結構含まれていると思いますので、その取扱いについては永田先生の長年の歴史を考慮し、一般公開するなり、もう少しきちんとした方向性ができればと感じておりますのでご意見を頂ければと思います。</p>			
答弁要旨 (答弁者：前田教育長)		<p>永田文庫の取扱いについては、基本的に永田先生の集めた貴重な資料を頂き、保存、活用することを目的に作業を進めることが基本だと思っています。町民の皆さんに見て頂くということを基本にデジタル化していると理解しているので、まずは公開に向けて一定程度整理し、どのような手法が良いのか、協議したいと思います。保管については、スペース的な物も無いので福祉センターの現在使用している書庫で保管していくしかないと思っています。</p> <p>基本的には資料を保存し、希望する方に公開する格好で検討していきたいと思っています。近くに図書室の職員もおり、普段は施錠しておきますが要望があった場合は現物をこの場所で見てもらおう対応は十分可能ですので、その形で今後検討して行きたいと思っています。</p>			
対応・進捗状況		対応済み (平成 年 月 日)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
取り組み状況		<p>■平成29年6月1日 現在</p> <p>永田文庫の取り扱いについては、平成25年度からPDFファイルにデジタル化の作業をし、保存事務を進めており、平成28年度中に概ね2600点余りの資料を整理しました。</p> <p>現在、町のホームページ上で一般公開に向けて準備しています。</p> <p>あわせて、福島町視聴覚ライブラリーとして収集した映像資料約130点についても公開に向けて作業を進めています。</p>			
調査を終了する本会議			平成30年度定例会3月会議		
その他参考事項		追跡内容は上記の1項目としました。			

答弁指定事項進捗状況調査書

本会議名等		議員名	平沼 昌平	確認年月日	H29. 3. 17
開催日	H29. 3. 14	議案名等		平成29年度一般会計予算 (戦没者追悼式の在り方について)	
会議名	予算審査特別委員会				
質問要旨	<p>福島町では297名の方が戦死されている。戦没者追悼式については、年々遺族の方々が高齢化し遺族会が解散、参加者が激減し式の維持が難しくなっている中で、これからは遺族・関係者だけでなく町民全体に参加を周知し、町内では戦争でこれだけの方々が犠牲になったことを知らしめ、町全体で戦没者を追悼する方向で事業の転換を考えていかなければ、戦没者に対する敬意が薄らいでくると思うが、町長の考えを聞きたい。</p>				
答弁要旨 (答弁者：鳴海町長)	<p>戦没者追悼式については、戦争で亡くなった297名の御霊を敬うことが一義であると思っています。遺族の方に敬意を表すため色々な形で式典が行われています。戦後だいたい遺族も高齢化して少なくなり、高齢のため参加できない状況もあります。今の平和がどうして出来ているのかを伝える一つのセレモニーでもあると思っています。これまでは遺族会を中心に、家族を亡くした方々に対しての式典として推移してきました。</p> <p>福島町の遺族会も早く無くなり、吉岡も無くなり、遺族と町が共同でやってきた経緯がありますが、各町も形式が2つに分かれていると思います。戦没者追悼的な意味合いと、平和への祈りみたいな形の所がありますので、遺族の方々と意見交換をしておりますが、若い人たちも自分たちが今の平和な日本に暮らせるのはそういった犠牲の上にあることを伝えていくことも我々の義務だと思っているので、戦没者追悼式のあり方をもう一度検証し、一般の人が参加しやすいような形も踏まえながら前向きに検討していきたいと思っています。</p>				
対応・進捗状況	対応済み (平成 年 月 日)	<input type="checkbox"/> 対応中		<input type="checkbox"/> 実施不可	
取り組み状況	<p>■平成29年6月1日 現在</p> <p>今年度の戦没者追悼式の実施にあたり、遺族並びに社会福祉協議会と意見交換をしているところですが、今後の追悼式の在り方についても引き続き協議してまいります。また、今年度は、町広報に追悼式の開催案内を掲載するなど一般の方が参列できるよう周知に努めてまいります。</p>				
調査を終了する本会議		平成30年度定例会3月会議			
その他参考事項	追跡内容は上記の1項目としました。				

様式第1号（第4条第1項、第5条第1項関係）

整理NO. 21

答弁指定事項進捗状況調書

本会議名等		議員名	平沼 昌平	確認年月日	H29.3.17
開催日	H29.3.14	議案名等		平成29年度一般会計予算 (高齢者福祉関連事業を一つにまとめ展開を理解しやすくする検討を)	
会議名	予算審査特別委員会				
質問要旨		<p>高齢者福祉に関連した様々な予算、事業がある中で四季を通じて見守る組織作りがこれから我々の町としてもっとも必要なことと考えます。</p> <p>内容はそれぞれあるが、考え方の根幹は同じだと思う、四季を通して高齢者がどういう状況でどうしてもらいたいのか、情報をいち早く得ることと、特に冬期間に町内の事業者、次世代を担う若い方々の雇用の場の創出を考え、組織編成し、意見を聞きながら高齢者に向けたサポート事業の展開をなされた方が良いと思うが町長のお考えを伺いたい。</p>			
答弁要旨 (答弁者：鳴海町長)		<p>選挙公約に掲げている、高齢者の方々が住み慣れている福島でいかにして暮らしていくかをサポートするのが行政の役割と考えている。新しいニーズで若い人の雇用が生まれるのが理想だが、まだその組立が出来ていない、町民の半分が高齢化している中で大事なところだと認識している。高齢者が、都会に行くことなく福島で最後まで住み続けるため私たちがいかに応援できるか、その中で若い方の仕事が作られれば相乗効果として良いので、社会福祉協議会等の関係団体の意見を頂き、話し合いの場を持ちながら将来に向けた政策の構築に努めて行きたいと思っています。</p>			
対応・進捗状況		対応済み (平成 年 月 日)	<input type="checkbox"/> 対応中		<input type="checkbox"/> 実施不可
取り組み状況		<p>■平成29年6月1日 現在</p> <p>社会福祉協議会とも高齢者対策について随時意見交換をしているところです。冬場の除雪対策が一番心配ごとであることは確認しております。</p> <p>そのため高齢者世帯の訪問実施時にあわせ、町及び社協事業で実施している除雪助成制度の周知を図るとともに、高齢者のニーズを聞き取りながら、関係団体とも情報共有し、今後も、将来に向けた高齢者福祉対策について引き続き協議してまいります。</p>			
調査を終了する本会議		平成30年度定例会3月会議			
その他参考事項		追跡内容は上記の1項目としました。			